

三条市水道事業ビジョンの達成状況 (令和6年度)

基本方針1 安全で安定した水道水の供給

1 水源の確保・保全・水質管理の徹底

啓発活動等実施回数及び水質異常発生回数の実績は、いずれも計画を達成しました。

安全で安定した水道水の供給のために、水源の確保と保全、水質管理の徹底は重要です。今後も水源保全の啓発を行うとともに、水道施設のパトロールや水質管理等の徹底に努めてまいります。

区 分	令和6年度		
	計 画	実 績	計画値との差
啓発活動等実施回数(回)	2	2	0
水質異常発生回数(回)	0	0	0

2 水道施設の安全管理

水道施設の日常点検を確実に行之、施設の異常把握に努めました。

基本方針2 災害に対する強靱化の推進

1 水道施設の耐震化

水道管路の耐震化は更新費用の高騰や関係機関との協議等に不測の日数を要し、工事の繰越等が発生したことで計画未達となりました。引き続き、限りある財源の中で計画的な耐震化に努めてまいります。

区 分	令和6年度		
	計 画	実 績	計画値との差
管 路 の 耐 震 化 率 (%)	13.8	12.1	△1.7

2 災害時対応の充実・強化

応急給水体制の確保については、前年度に引き続き日本水道協会新潟県支部との応援体制が確立されている中で、水道お客さまセンターとの連携強化に努め、市の水害対応防災訓練に併せて訓練を実施しました。

また、災害復旧体制の確保については、日本水道協会新潟県支部の三条エリア団体（三条市、燕・弥彦総合事務組合、加茂市、田上町、三条地域水道用水供給企業団）と資機材の保有情報を共有するなど関係機関との連携を図りました。

基本方針 3 健全な事業運営の持続

1 計画的な施設の更新

更新費用の高騰や関係機関との協議等に不測の日数を要し、工事の繰越等が発生したことで計画未達となりました。限りある財源の中で、関係機関と十分に調整しながら計画的に進めてまいります。

浄配水施設の長寿命化については、今後決定している企業団からの受水量の増加を見据え、引き続き、適切な維持管理に努めてまいります。

区 分	令和 6 年度		
	計 画	実 績	計画値との差
管路更新延長 (km)	5.6	1.9	△3.7

2 収益の確保

水道事業の収入の根幹を成す水道料金の収納率は、計画値を下回りました。引き続き、収納率の向上に努め、未納者に対しては、納入相談等により納付意識の向上に努めてまいります。

区 分	令和 6 年度		
	計 画	実 績	計画値との差
収納率 (%)	98.87	98.60	△0.27

3 経営の効率化

経営の効率化の指標については、有収率が計画値を下回りましたが、その他の項目は計画値を上回りました。今後もコスト削減等による経営の効率化を進めるとともに、デジタル技術を活用するなど、漏水の早期発見・早期修繕に努め、有収率の向上を図ってまいります。

区 分	令和 6 年度		
	計 画	実 績	計画値との差
職員数 (人)	28	26	△2
営業収支比率 (%)	95.16	95.32	0.16
経常収支比率 (%)	96.32	98.63	2.31
有収率 (%)	91.03	85.40	△5.63

基本方針 3 健全な事業運営の持続

4 事業運営体制の強化

外部研修については、積極的に参加した結果、計画を達成しました。

区 分	令和 6 年度		
	計 画	実 績	計画値との差
外部研修参加人数（人）	6	18	12

投資計画と財政収支計画の達成状況 ①投資計画

投資計画

更新費用及びその他建設費用は、関係機関との協議等に不測の日数を要し、工事の繰越等が発生したことで、全体的に減少しました。

引き続き、当初予定した工事等が着実に完了するよう、関係機関とも十分に調整し進めてまいります。

（千円）

区 分		令和 6 年度		
		計 画	実 績	計画値との差
更新費用	浄水施設費	14,000	0	△14,000
	配水管布設替工事費	550,000	367,273	△182,727
		564,000	367,273	△196,727
その他建設費用	配水施設設置工事費	5,000	91,498	86,498
	配水管布設工事費	30,000	0	△30,000
	消火栓施設費	10,000	10,586	586
	固定資産購入費	4,000	3,442	△558
		49,000	105,526	56,526
計		613,000	472,799	△140,201

給水人口と年間有収水量の見込み

給水人口は計画値を下回りましたが、年間有収水量は計画値を上回りました。今後も給水人口の減少に伴い、使用水量の減少が見込まれますが、漏水の早期発見・早期修繕を図り、無収水量の縮減に努めてまいります。

区 分	令和6年度		
	計 画	実 績	計画値との差
給水人口(人)	91,064	90,563	△501
年間有収水量(千m³)	11,063	11,290	227

収益的収支

収入については、年間有収水量が計画よりも多かったことで、料金収入は計画値を上回りました。

支出については、物価の高騰による物件費・人件費が増加しましたが、計画内で収めることができました。結果として、損益は26,827千円の赤字となりました。

(千円)				
区 分		令和6年度		
		計 画	実 績	計画値との差
収 入	1 営業収益	1,714,751	1,747,604	32,853
	(1) 料金収入	1,687,754	1,722,702	34,948
	(2) その他	26,997	24,902	△2,095
	2 営業外収益	105,721	100,689	△5,032
	(1) 他会計繰入金	1,433	2,020	587
	(2) 長期前受金戻入	63,964	65,041	1,077
	(3) 水道加入金・その他	40,324	33,628	△6,696
	3 特別利益	0	0	0
計 (A)		1,820,472	1,848,293	27,821
支 出	1 営業費用	1,801,665	1,833,443	31,778
	(1) 人件費	128,169	143,425	15,256
	(2) 物件費	1,074,819	1,121,048	46,229
	(うち受水費)	781,804	774,838	△6,966
	(3) 減価償却費ほか	598,677	568,970	△29,707
	2 営業外費用	88,293	40,544	△47,749
	(1) 支払利息	87,363	39,068	△48,295
	(2) その他	930	1,476	546
	3 特別損失	500	1,133	633
計 (B)		1,890,458	1,875,120	15,338
損益 (A) - (B)		△69,986	△26,827	43,159
利益剰余金残高		872,534	1,505,827	633,293

資本的収支

建設改良費については、関係機関との協議等に不測の日数を要し、工事の繰越等が発生したことで、関連する企業債、工事負担金が減額となり計画値を下回りました。

引き続き、水道事業ビジョンに基づき、計画的に工事等を進めてまいります。

なお、内部留保資金残高は計画値を上回っております。

(千円)

区 分		令和 6 年度		
		計 画	実 績	計画値との差
収 入	1 企業債等	469,000	279,800	△189,200
	2 出資金・補助金	0	0	0
	3 工事負担金・その他	80,467	42,626	△37,841
	計 (A)	549,467	322,426	△227,041
支 出	1 建設改良費	695,629	545,128	△150,501
	2 企業債償還金	190,642	189,338	△1,304
	3 災害復旧償還金	0	0	0
	計 (B)	886,271	734,466	△151,805
	差引不足額 (A)－(B)	△336,804	△412,040	75,236
	内部留保資金残高	2,467,224	3,092,010	624,786

令和 6 年度における水道事業ビジョンの総括

水道管路の更新（耐震化含む）については、関係機関との協議等に不測の日数を要し、工事の繰越等が発生したことや昨今の物価高騰による工事費の上昇などにより、計画どおりに進めることができませんでした。引き続き、水道事業ビジョンに基づき計画的な更新に努めてまいります。

経営状況については、給水人口の減少や節水機器の普及等により水需要が減少傾向にあります。加えて、収益的収支の損益はビジョンの計画値を上回ったものの、赤字収支となりました。今後は利益積立金等の内部留保資金を活用した経営が続いていくことから、適正な水道料金の在り方について引き続き検討してまいります。

水道事業ビジョンの基本理念及び基本方針に基づき、徹底したコスト削減に努めます。また、有収率の向上を図るため、デジタル技術を活用した漏水の早期発見・早期修繕や老朽配水管等の計画的な更新を進めるとともに、施設の長寿命化等にも取り組み、安全で安心な水道水の供給に努めてまいります。